

説明用資料

平成25年度 上半期経営報告会

平成25年11月22日

目次

平成25年度上半期決算の状況

1-1	預金積金の残高	4
1-2	預金積金の内訳	5
2-1	貸出金の残高	6
2-2	貸出金の内訳	7
3-1	損益の状況	8
3-2	損益の増減要因	9
4-1	有価証券の運用状況	10
4-2	有価証券の評価損益	11
5-1	純資産の状況	12
5-2	自己資本比率の状況	13
5-3	不良債権の状況	14
6-1	貸借対照表	15
6-2	損益計算書	16
7	平成25年度計画の 進捗状況	17

平成25年度上半期の主な取り組み

□平成25年度の5つの重点課題	19
□平成25年度上半期の主な取り組み (重点課題1～5)	20

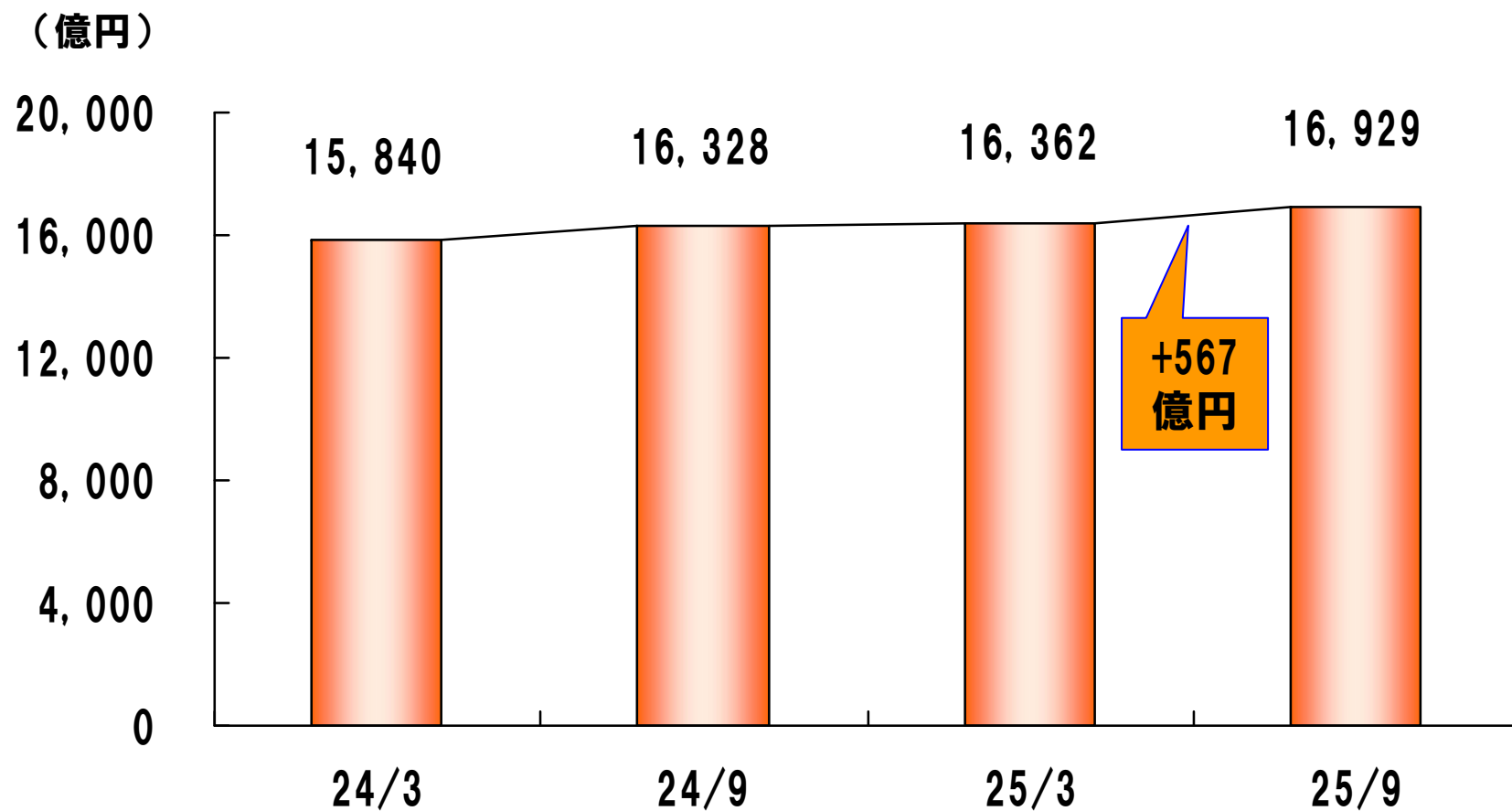
ご報告事項

□格付取得のご報告	26
□刈谷北支店、天白支店を 新築オープン	27
□海外子会社向け直接融資に関する 認可を取得	28

平成25年度上半期決算の状況

1-1 預金積金の残高

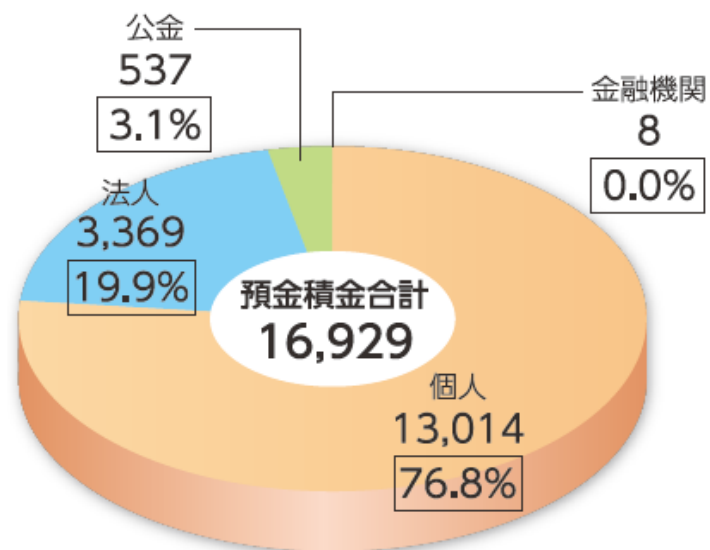
- 預金積金残高は1兆6,929億円。平成25年3月末比567億円増加。
- 個人のお客さまからの定期預金を中心に増加。



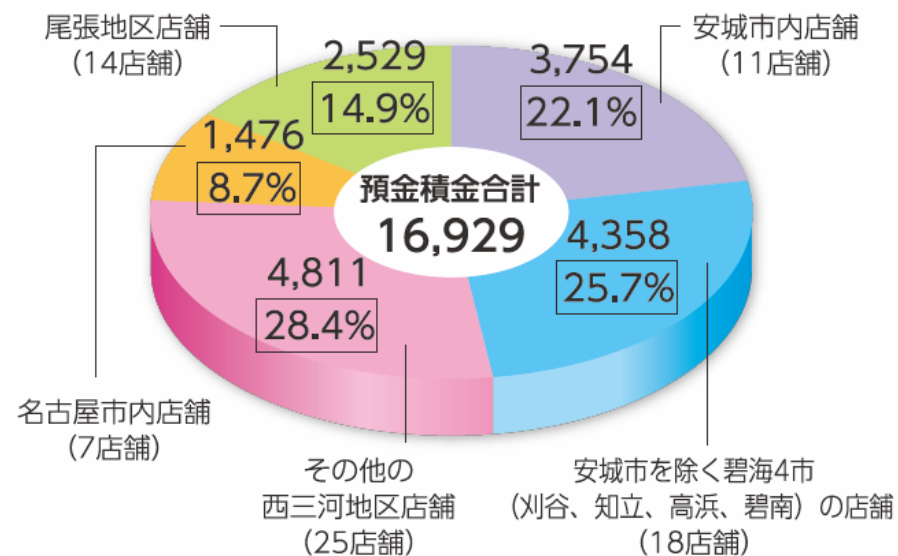
1-2 預金積金の内訳

- 個人のお客さまからの預金積金が全体の76.8%。
- 営業地区内の多くのお客さまからの幅広いご預金。

■ 預金者別預金積金残高



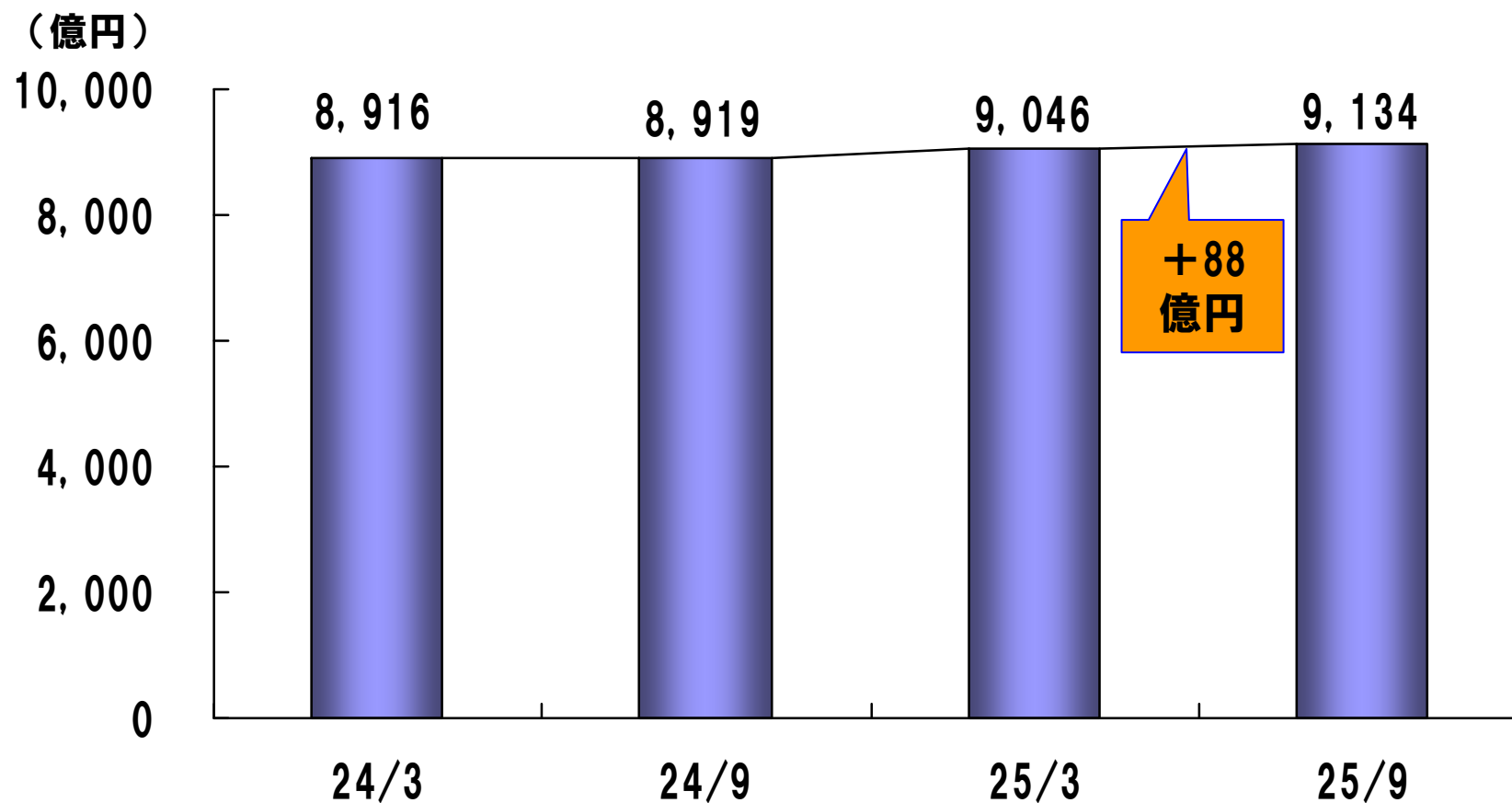
■ 営業店舗地区別預金積金残高



(平成25年9月末、単位：億円、□内は全体に占める割合)

2-1 貸出金の残高

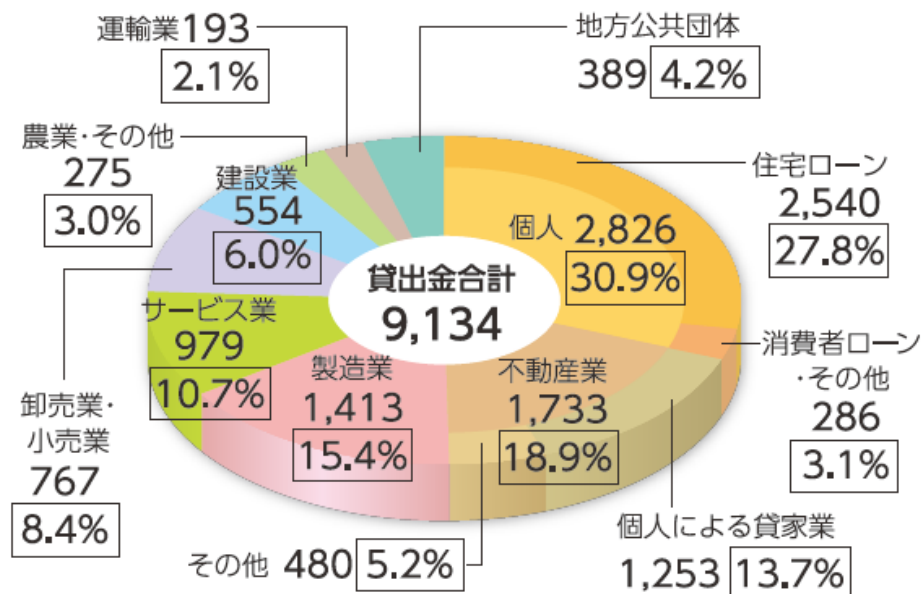
- 貸出金残高は9,134億円。平成25年3月末比88億円増加。
- 事業者向けの貸出金および個人向け貸出金がともに増加。



2-2 貸出金の内訳

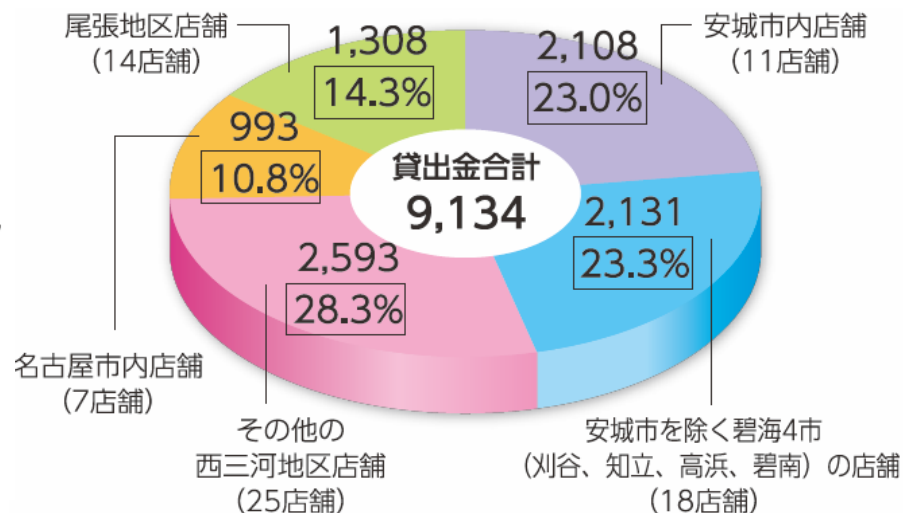
- 特定の業種に偏ることなく、幅広い業種の資金需要に対応。
- 営業地区内の多くの地域のお客さまにご融資。

■ 業種別貸出金残高



事業者向け貸出 5,918 64.7%
(地方公共団体を除く)

■ 営業店舗地区別貸出金残高

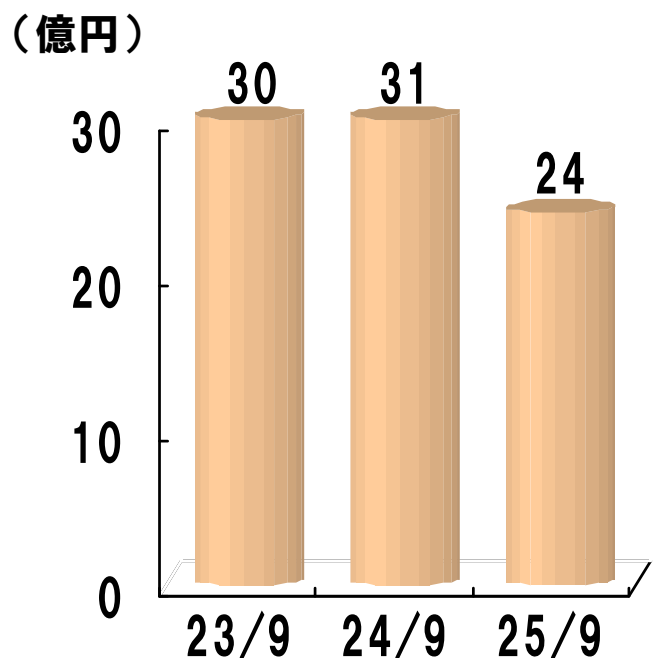


(平成25年9月末、単位：億円、□内は全体に占める割合)

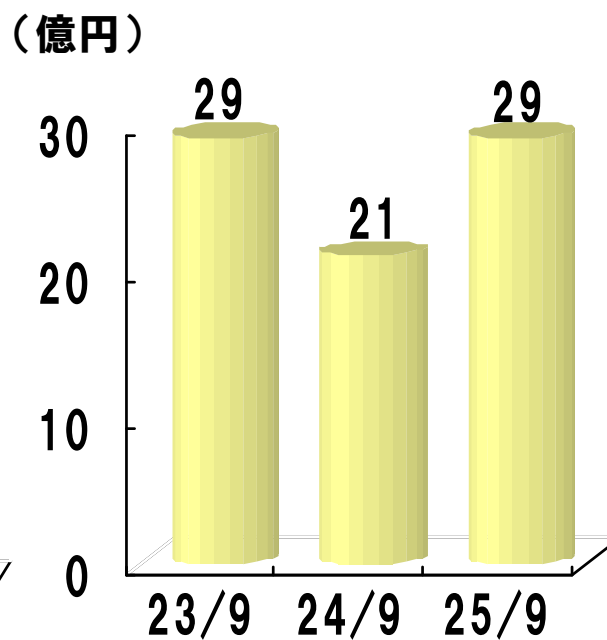
3-1 損益の状況

- 平成25年度上半期の業務純益 は 24億円、前年同期比 6億円 (21.6%) 減少。
- " 經常利益 は 29億円、 " 8億円 (38.7%) 増加。
- " 当期純利益は 21億円、 " 6億円 (44.6%) 増加。

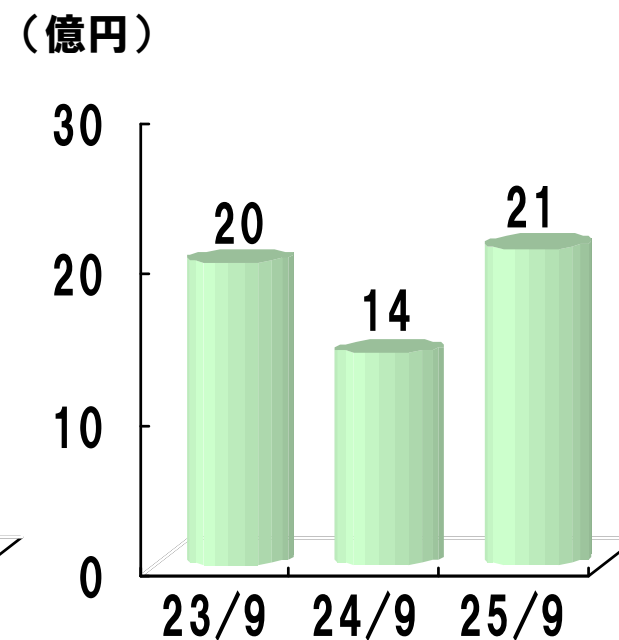
■ 業務純益



■ 經常利益



■ 当期純利益



3-2 損益の増減要因

(単位：百万円)

	平成24年度 上半期	平成25年度 上半期	増 減
業務粗利益	11,469	10,783	△686
資金利益	10,153	10,066	△87
役務取引等利益	558	538	△19
その他業務利益	757	178	△578
(うち国債等債券関係損益)	743	151	△591
経費	8,477	8,324	△153
人件費	4,848	4,773	△75
物件費	3,387	3,338	△48
一般貸倒引当金繰入額	△145	-	145
業務純益(※1)	3,137	2,459	△678
コア業務純益(※2)	2,249	2,308	58
臨時損益	△1,005	499	1,505
不良債権処理損益	△315	△46	269
株式等関係損益	△774	479	1,253
経常利益	2,131	2,958	826
特別損益	△14	△7	7
当期純利益	1,471	2,128	656

貸出金利回りの低下による貸出金利息の減少や、国債等債券関係損益の減少により、業務純益は前年同期比6億78百万円減少の24億59百万円となりました。

株式等関係損益の改善、不良債権処理費用の減少などにより、経常利益は前年同期比8億26百万円増加の29億58百万円となりました。

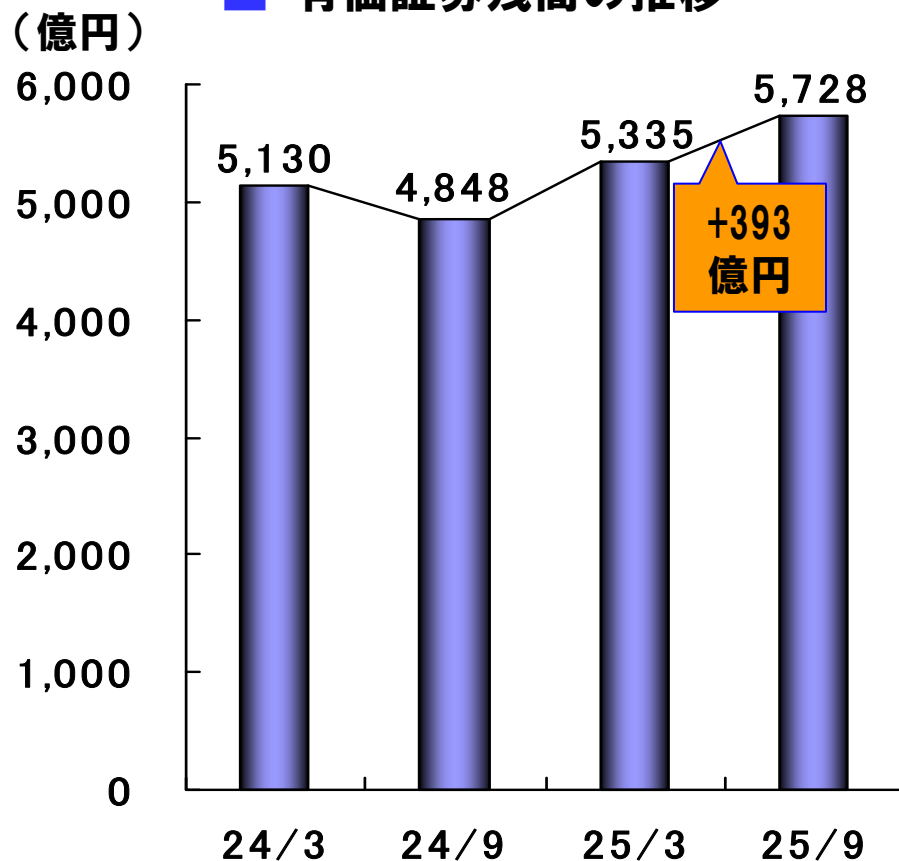
※1 業務純益とは、金庫の基本的業務に係る利益です。

※2 コア業務純益とは、業務純益から、一時的な変動要因(国債等債券関係損益等)を除いた、より実質的な収益力を表す利益です。

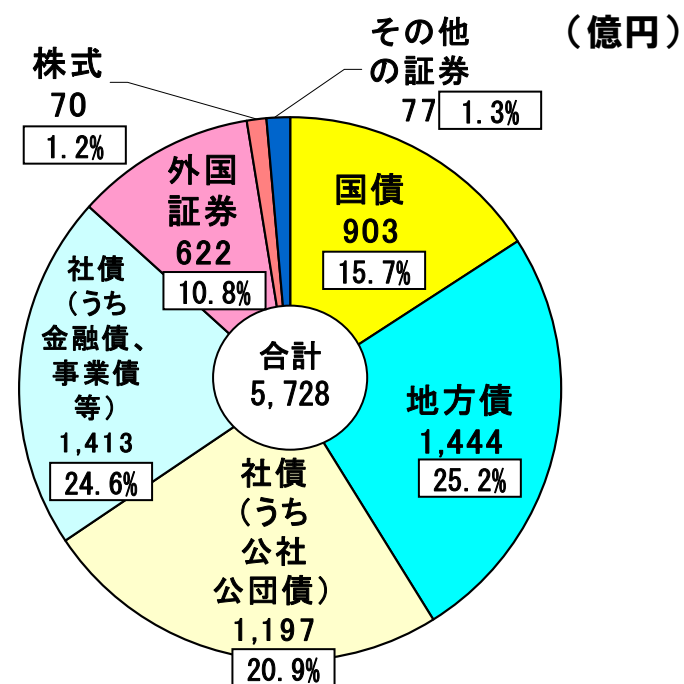
4-1 有価証券の運用状況

- 有価証券残高は5,728億円。平成25年3月末比393億円増加。
- 国債、地方債、格付けの高い社債および外国証券等を中心に安全性重視で運用。

■ 有価証券残高の推移



■ 有価証券の内訳 (平成25年9月末)



(注) 外国証券の元本はすべて円建てで運用しています。

4-2 有価証券の評価損益

- 有価証券の評価損益は152億45百万円。平成25年3月末比26億90百万円減少。
- 市場金利が上昇したことにより、国債・地方債等の債券の評価損益は減少。
- 一方で、アベノミクス効果などにより、株式相場が上昇。株式の評価損益は増加。

有価証券の評価損益

(単位：百万円)

	平成25年 3月末	平成25年 9月末	増	減
有価証券の評価損益	17,936	15,245	△2,690	
株式の評価損益	2,621	2,936		315
債券の評価損益	13,996	10,914	△3,081	
その他の評価損益	1,319	1,394		75

株式相場の上昇により、株式の評価損益は増加。
(日経平均株価：
3月末12,397円→9月末14,455円)

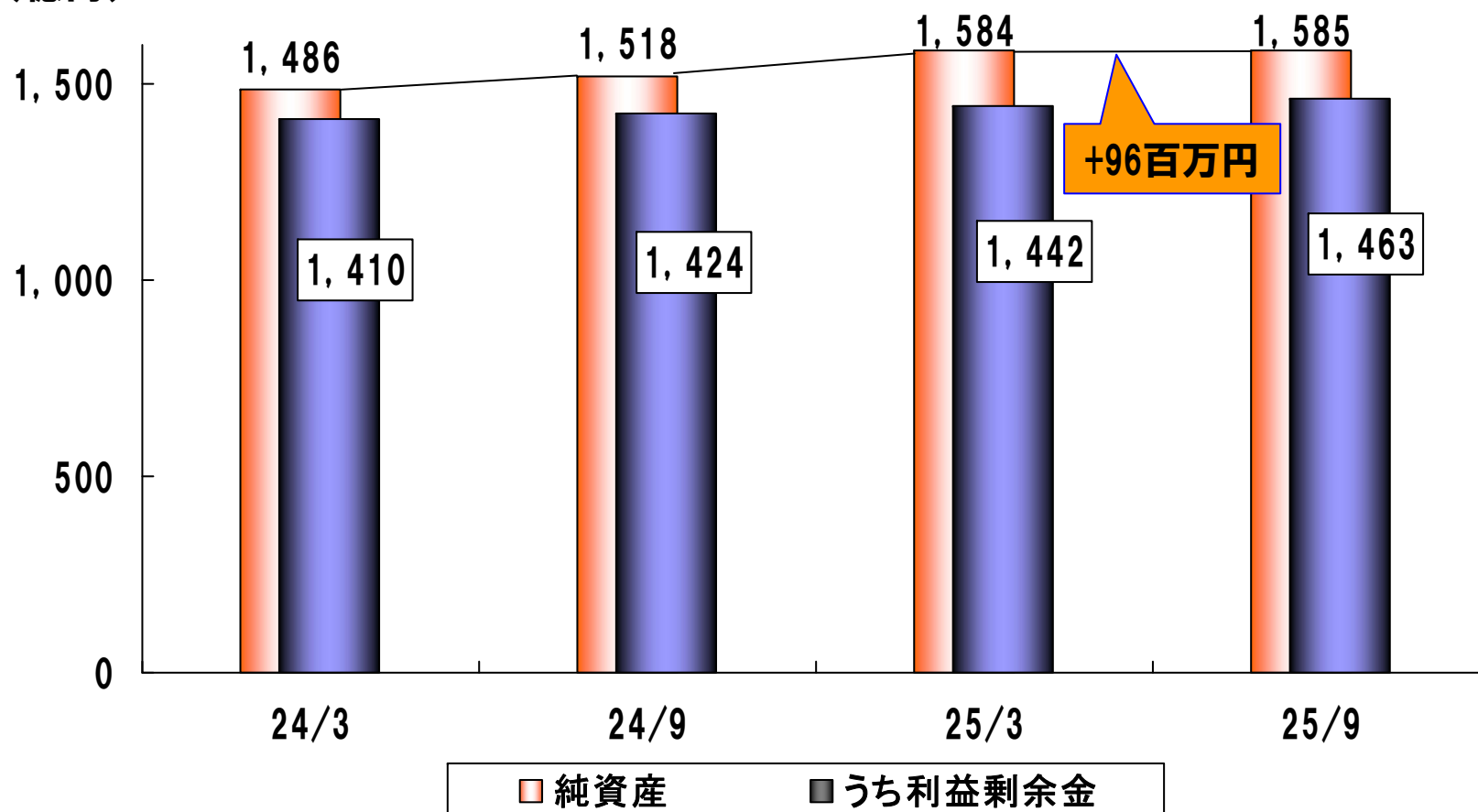
市場金利の上昇により、債券評価損益は減少。
(10年国債利回：
3月末0.55%→9月末0.68%)

※その他は、外国証券、投資信託等

5-1 純資産の状況

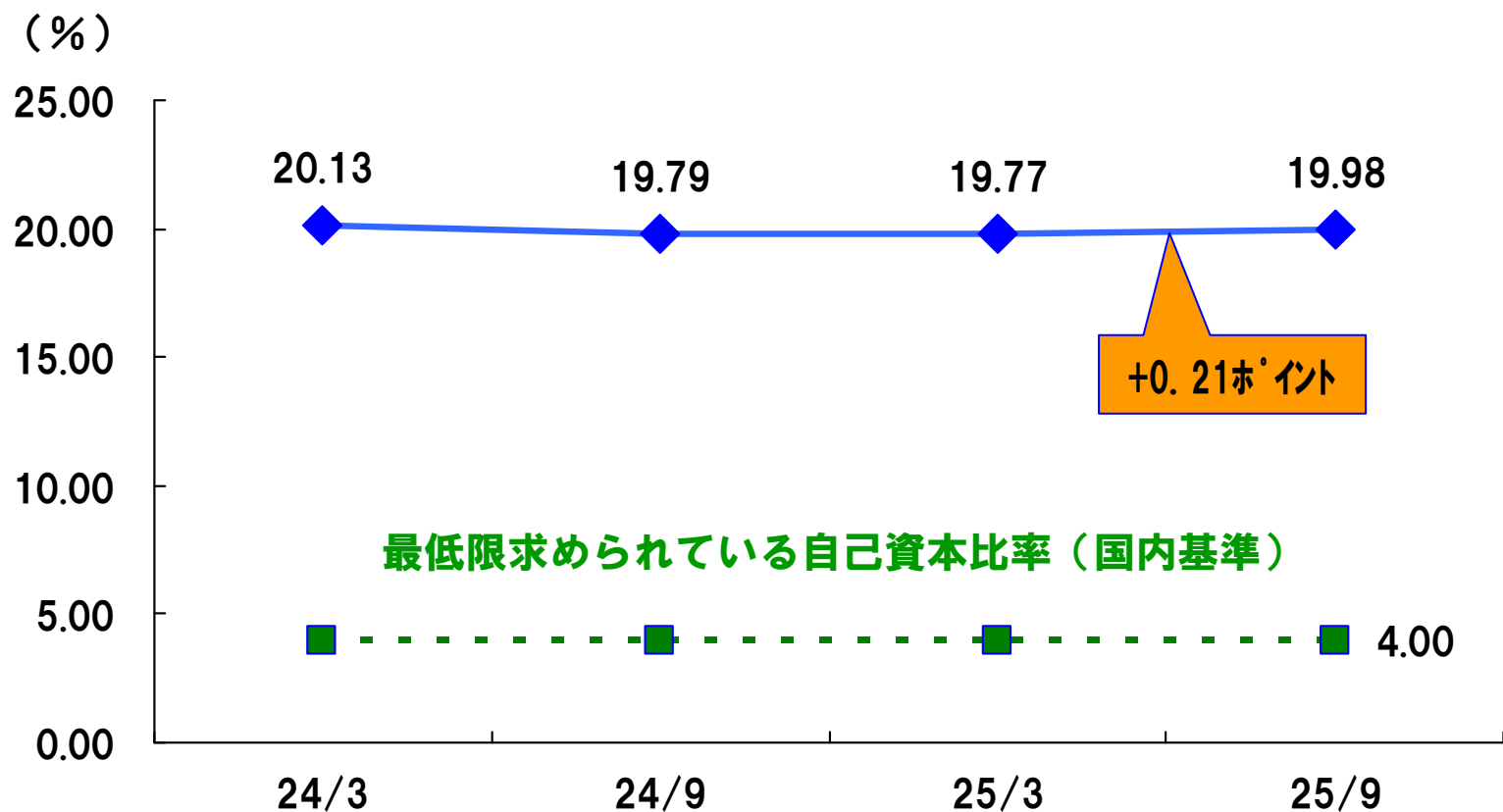
- 純資産は1,585億円。平成25年3月末比96百万円増加。
- 創業以来の利益の積立金である利益剰余金は1,463億円。
- 純資産に占める利益剰余金の割合は92.2%と、純資産の質の高さが特徴。

(億円)



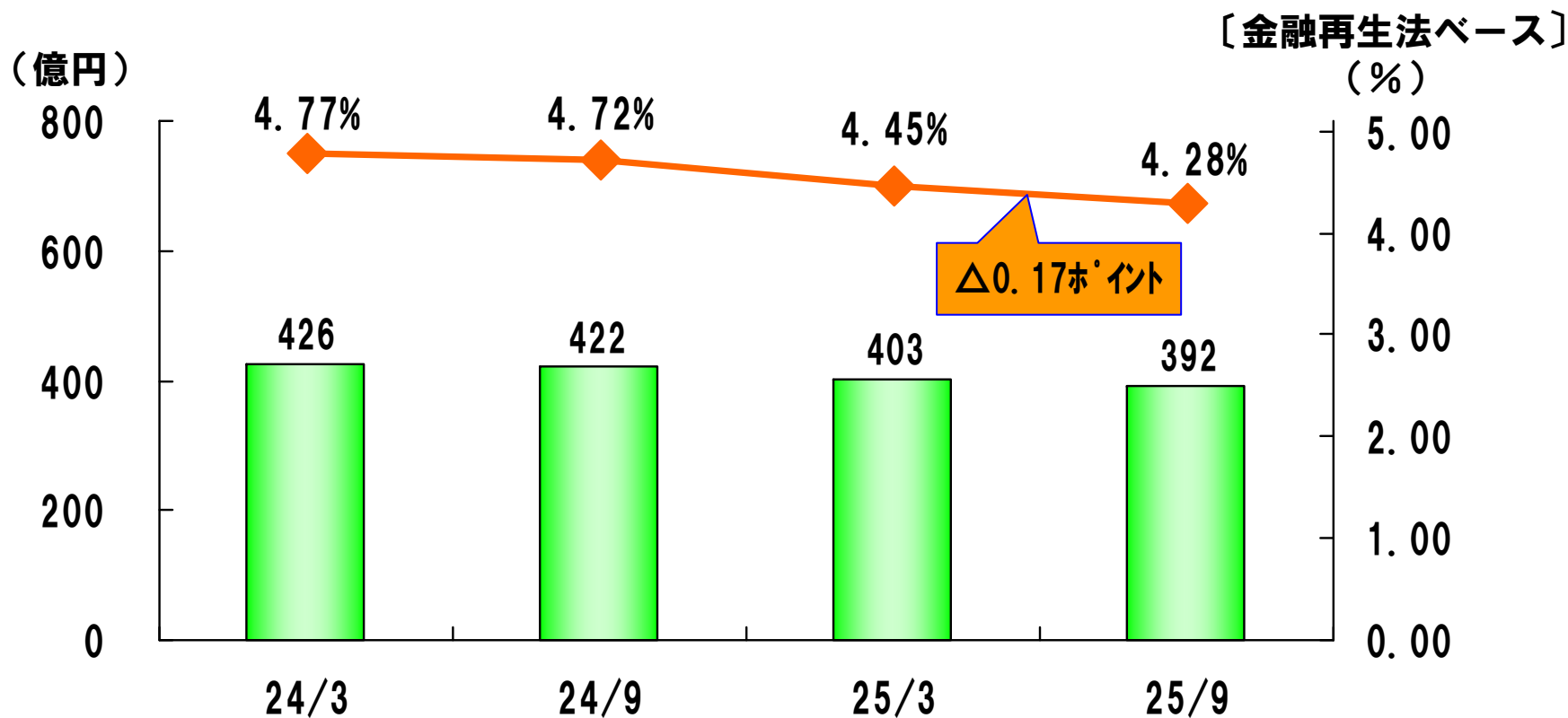
5-2 自己資本比率の状況

- 金融機関の安全性を表す代表的な指標である自己資本比率は、平成25年3月末比0.21ポイント上昇し19.98%。
- 信用金庫に求められる国内基準4%を大幅に上回っています。



5-3 不良債権の状況

- 不良債権比率は、平成25年3月末比0.17ポイント低下し4.28%。
- 地域経済への影響を十分考慮しつつ、引き続き「事業再生・経営支援活動」を主体に改善に努める方針。



※当金庫は債務者に対する債権のうち、回収可能性がないと判断した部分について、直接貸借対照表から減額する部分直接償却を実施しています。

6-1 貸借対照表 (平成25年9月末現在)

科 目		金 額
(資産の部)		百万円
現 金	金	18,276
預 け	金	344,073
買 入 金 銭 債 権		4,407
商 品 有 価 証 券		3
有 価 証 券		572,879
貸 出	金	913,477
外 国 為 替		489
そ の 他 資 産		8,677
有 形 固 定 資 産		17,243
無 形 固 定 資 産		419
債 務 保 証 見 返		2,478
貸 倒 引 当 金		△4,671
(うち個別貸倒引当金)		(△1,907)
資 産 の 部 合 計		1,877,752

科 目		金 額
(負債の部)		百万円
預 金 積 金	金	1,692,950
借 用 金	金	15,420
外 国 為 替		191
そ の 他 負 債		4,185
賞 与 引 当 金		524
退 職 給 付 引 当 金		633
役 員 退 職 慰 労 引 当 金		323
偶 発 損 失 引 当 金		417
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金		90
繰 延 税 金 負 債		1,953
債 務 保 証		2,478
負 債 の 部 合 計		1,719,169
(純資産の部)		
出 資 金	金	1,235
利 益 剰 余 金	金	146,332
会 員 勘 定 合 計		147,567
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		11,015
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		11,015
純 資 産 の 部 合 計		158,583
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計		1,877,752

6-2 損益計算書 (平成25年4月1日~9月30日)



科 目	金 額	経 常 利 益	2,958
	百万円	特 別 利 益	0
経 常 収 益	12,992	特 別 損 失	7
資 金 運 用 収 益	10,764	税 引 前 当 期 純 利 益	2,951
貸 出 金 利 息	6,872	法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	772
有 価 証 券 利 息 配 当 金	3,095	法 人 税 等 調 整 額	50
役 務 取 引 等 収 益	1,272	法 人 税 等 合 計	823
そ の 他 業 務 収 益	179	当 期 純 利 益	2,128
国 債 等 債 券 売 却 益	151	繰 越 金	532
そ の 他 経 常 収 益	775	当 期 未 処 分 剰 余 金	2,660
経 常 費 用	10,034		
資 金 調 達 費 用	698		
預 金 利 息	637		
役 務 取 引 等 費 用	734		
そ の 他 業 務 費 用	0		
経 費	8,315		
人 件 費	4,764		
物 件 費	3,338		
そ の 他 経 常 費 用	284		
貸 出 金 償 却	191		

7 平成25年度計画の進捗状況

※平均残高：1年間（半年）を平均した残高です。

	項目	25年9月期 (半期)実績	25年9月期 (半期)計画	計画対比	26年3月期 (年間)計画
規模	預金平均残高	1兆6,495億円	1兆6,200億円	+295億円	1兆6,200億円
	貸出金平均残高	8,924億円	8,900億円	+24億円	8,900億円
収益性	コア業務純益	23億円	19億円	+4億円	42億円
	経常利益	29億円	13億円	+16億円	30億円
	当期純利益	21億円	9億円	+12億円	21億円
健全性	自己資本比率	19.98%	20.00%以上	△0.02%	20.00%以上
	不良債権比率	4.28%	4.50%以下	△0.22%	4.50%以下

平成25年度上半期の主な取り組み

1. 内部管理態勢の強化

2. 課題解決型金融の推進

3. CSR経営の推進

4. 収益力の強化

5. 人材の戦略的な育成

(重点課題1) 内部管理態勢の強化

- 当金庫は、コンプライアンス（法令等遵守）を重視した企業風土を醸成することを経営の最重要課題の一つとし、コンプライアンスが全ての業務に優先するという考え方を全職員が共有。

コンプライアンス態勢の充実を図るために、統括部署と各部署のコンプライアンス委員との意見交換会や事例研究を行う「コンプライアンス委員連絡会」を毎年開催。

コンプライアンスに関する問題点の早期発見・是正を目的に、当金庫の役職員のみではなく、その家族なども利用可能な「内部通報等窓口」を設置。



コンプライアンス委員連絡会

(重点課題2) 課題解決型金融の推進

- 資産運用のご提案をさせていただく「資産の相談日」を毎月15日に全営業店で開催。
- 平成25年度税制改正に伴い、相続・事業承継のポイントについて解説する「へきしん事業承継セミナー」を開催。
- 新しい証券税制NISA（少額投資非課税制度）の仕組みや金融経済動向をわかりやすく解説する「資産運用セミナー」を開催。
- 中小企業の皆さまが抱える経営課題の解決をお手伝いするため、専門家を派遣する連携体「しんきん愛知プラットフォーム」に参加。



毎月15日は「資産の相談日」



へきしん事業承継セミナーを開催



資産運用セミナーを開催

(重点課題3) CSR経営の推進

- お客さま満足度向上へ向けた取り組みとして、
「ATM休日・時間外手数料無料サービス」を開始。
- 全ての店舗内ATMコーナー、および32カ所の店舗外ATMコーナーの営業時間を延長。
- 地域行事への積極的な参加、環境保護への積極的な取り組みを実施。



ATM休日・時間外手数料
無料サービス



安城七夕まつりダンスコンテストに参加
(パレード部門で5年連続優勝)



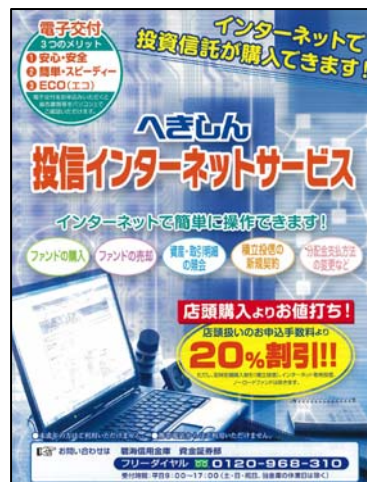
NPO法人エコキャップ推進協会より
エコキャップ支援賞を受賞

(重点課題4) 収益力の強化

- 当金庫で2番目となるローンプラザを豊明支店2階にオープンし、住宅ローンの推進を強化。
- ご自宅のパソコンから投資信託のお取引ができる投信インターネットサービス、および個人インターネットバンキングサービスでの定期預金の取扱開始などインターネットによる営業チャネルの拡大。
- 投資信託や保険商品などの預かり資産の推進によるフィービジネスの強化。



ローンプラザ豊明〔豊明支店2階〕
平成25年7月1日オープン



投信インターネットサービス



投資信託・保険商品

(重点課題5) 人材の戦略的な育成

- 若手職員の早期戦力化を図るため、当金庫人材育成プログラムに従った、さまざまな勉強会・研修を実施。
- 女性の能力発揮によるリテール分野の営業力強化を図るため、女性ライフアドバイザー、資産運用リーダーの活動を強化。
- 中小企業の皆さまに対して専門性の高い支援を行うため、職員のコンサルティング能力を高める公募研修制度「本部トレーニー制度」を毎年実施。



若手職員を対象とした
入庫3年目研修



ライフアドバイザーによる
資産運用提案



本部トレーニー卒業生を対象とした
ブラッシュアップ研修

ご報告事項

□ JCR格付において、当金庫は9年連続で「A+」を取得。

株式会社日本格付研究所（JCR）

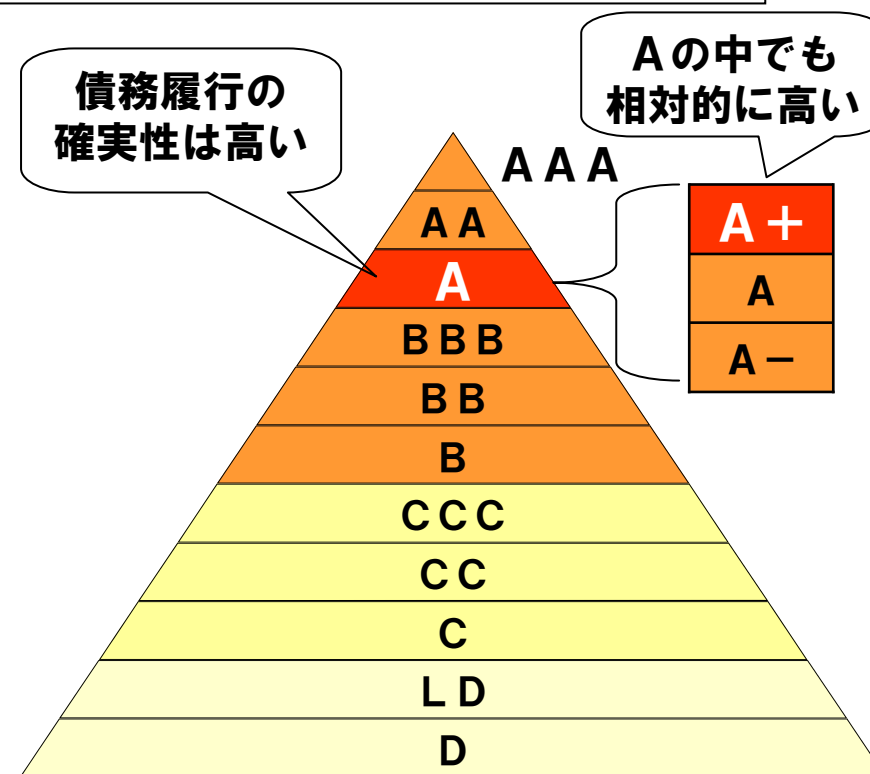
格付の種類：「長期発行体格付」

格付：

A+

格付見通し：「安定的」

平成25年10月取得



刈谷北支店、天白支店を新築オープン 碧海信用金庫

- 「人にやさしい店舗づくり」をコンセプトとして、平成25年6月24日に刈谷北支店、平成25年11月18日に天白支店を新築建て替えオープン。



刈谷北支店
平成25年6月24日新築オープン
〔刈谷市高倉町1丁目207番地〕



天白支店
平成25年11月18日新築オープン
〔名古屋市天白区池場3丁目1708番地〕

海外子会社向け直接融資に関する認可を取得 碧海信用金庫

- 東海財務局より、お取引先の海外子会社向け直接融資の取り扱いが行えるよう認可を取得。



中小企業の皆さまの海外展開が活発化する中、お取引先の資金需要をはじめとした多様なニーズに対応できる体制を強化しています。

平成25年6月26日 東海財務局より認定取得

本日は、経営報告会にご参加いただき、誠にありがとうございました。
本日の説明内容に関するご照会等がございましたら、下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】
碧海信用金庫
総合企画室 広報調査課
TEL : 0566-77-8102

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化などにより、変動する可能性があることにご留意ください。
また、本資料に掲載されております計数につきましては、会計監査人の監査を受けておりません。